

町議会 新たな出発

4月23日に行われた浪江町議会議員一般選挙において、16名の住民の代表が選ばれました。今後の町づくりに向け、皆さまの抱負をご紹介します。(五十音順・敬称略)



4月24日 町議会議員一般選挙当選証書付与式



石井 悠子 (北幾世橋)

このたび、皆さまのお力添えのおかげで当選させていただきました。誠にありがとうございます。震災から6年、3月31日に一部解除になり、浪江町へ戻る方、戻れない方もさまざまな状況の中でどこにいても浪江町への想いをもち続けていただけたら、町民の皆さまを主体とした町づくりを目指して行きたいと思っております。



泉田 重章 (北幾世橋)

震災および原子力災害から7年目を迎えて、3月31日に一部避難区域が解除されました。私は、将来子どもたちが住みたいと思える町の復興を目指し、町行政と共に、復興施策を掲げる議員として協働してまいります。特に、帰還困難区域が抱える除染技術の開発を促し、新エネルギーを利用した農業の再構築を目指します。



紺野 榮重 (北幾世橋)

今回の選挙は一部を除いて避難指示解除されて初めての議会議員選挙でした。そしてこれからは、復興のはじまりだと思っております。これから農林水産業、商工業の復興、働く場所、工場の誘致をすすめてはならないと思っております。帰還困難区域の拠点を設け、早急に除染を進めるべきと思っております。浪江町の歴史を継承して次の世代にバトンを渡すまでが我々の役目です。皆さんと共に浪江町の復旧、復興させていくとともに、自然を取り戻さなければなりません。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。



紺野 則夫 (棚)

避難から6年が経過し、町内の一部が避難解除されましたが避難は継続中であり、浪江町はいまだ有事に変わりはありません。私はこの避難が続く限り精神的賠償の継続・生活再建のための賠償を原因者に対し強固に求めるとともに、生きるための社会保障制度の確立を目指し、



佐々木恵寿 (権現堂)

復興のステージの進捗を的確に把握し、新しいまちづくりへの挑戦のため、新たな発想と効果的な復興戦略を実行する必要があります。さらに、町民の皆さまの暮らしや生業の再建と自立に向けた施策を積極的に展開し復興の流れを前に進めていく決意です。町民の皆さまの声に耳を傾けながら、全身全霊で議会活動を進めてまいります。



佐々木勇治 (権現堂)

今回の町議会議員選挙で当選させていただいたことに、本当に本当に感謝申し上げます。私の行うことは、皆さんの声に耳を傾け、町民の代弁者として意見や要望を町政に反映させ、一つ一つ解決していくことしかないと考えています。これからの4年間、全力で取り組みますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



佐藤 文子 (川添)

解除後初の議会改選を終え、町民の方々の議会に対しての期待は大きいと感じました。今後の町の将来が決まっていく復興元年の重要な1期4年間です。今、何が求められているのか。また、何をなすべきかをしっかりと見据え、議員としての資質・能力を問われるこの4年間で粉砕身、努力まい進していきたいと思っております。



馬場 績 (赤宇木)

避難解除直後の選挙でした。しかし、6年を過ぎても原発事故は時間的に、地理的に、何よりも人々の暮らしにおいて回復することができない「異質」な災害であることを見せつけられました。浪江の復興はもとより、町民の生業・生活再建のためには、除染・賠償・生活支援の継続が求められています。原発ゼロ。町民と共に頑張る決意です。



平本 佳司 (立野)

先般の改選において2期目を努めさせていただくことになり、責任の重さを痛感しております。帰還困難区域を除き避難指示が解除されましたが、まだまだ普通に生活できるまでに至っておりません。帰還された住民が安心して生活できるよう生活支援、健康管理はもちろん、徹底除染「フオーアアップ」を必ず遂行させて第二次復興計画の実現化に向け、先人が築き上げた「故郷なみえ」を次世代に安心して引き継ぐために尽力させていただきます。



山崎 博文 (権現堂)

町では、帰還困難区域を除き避難指示が解除となり、ようやく復興へと新たなステージに入りました。ただ町民の皆さんは「解除」について、さまざまなご意見をお持ちになっているのも事実です。皆さんが、どのような選択をされても不利益を被らないよう『町民の暮らしと健康を守る』をモットーに、4年間全力で取り組んでまいります。



吉田 数博 (刈宿)

一部避難解除がなされ、浪江町再生へ向けスタートいたしました。今後、除染・医療・介護等の生活環境の整備、生活支援の継続、廃炉作業の安全確保、町再生のための財政・人的支援の取組みに対する国、県、東電の責任において必要な支援を強く求めてまいります。また、これからは、社会的弱者とされる高齢者、障がいをお持ちの方、子どもたちへの適切な対応であり、町民ファーストを議員理念として活動してまいります。



高野 武 (請戸)

行政の使命は、住民の生命と財産を守り、住民に対する公平・中立な行政政策です。私は町民に公平感と格差がない浪江町復興を目指すため、「帰還できる環境整備」・「町外避難者の支援」・「漁業を含めた地場産業の復興」・「賠償の格差是正」に取り組みます。そのためには行政の監視にしっかり取り組み、町民目線で町民の意見を代弁します。



半谷 正夫 (大堀)

このたびの町議会議員選挙において選任をいただき強く責任を感じております。大震災、原発事故から7年目を迎えました。が、いまだ町民が避難を強いられる厳しい窮状にあります。私は新人議員として議会に参画し、先輩議員の教えを賜りながら議会の歴史に恥じぬよう、精進してまいります。また、山積する課題に前向きに取り組み、町民が希望を持って生活ができるよう努めてまいります。皆さまにはご自愛をいただきますようお願いし、私の抱負といたします。



松田 孝司 (谷津田)

このたび、再び議会の席に就くことができ町民の皆さまに感謝しております。その気持ちを常に忘れず、これからも町民の皆さまの中で、町民の声を町政に生かせるように努めてまいります。これからは五里霧の中、どう古里を取り戻すのか道程は厳しいと思いますが、安全・安心に何気なく暮らせる環境を求め、より良い町になるよ



山本幸一郎 (末森)

このたび、3期目の議員職を務めさせていただくことになりました山本幸一郎です。私は町内に安心して多くの方が戻って生活していただければと思っております。しかし、問題も数多く、例えば医療・介護・買い物等の充実には至っていません。これらの問題を一つずつ解決して震災前に近づけていくには、行政の力だけでは解決できません。多くの町民の意見や、協力があれば解決していくと思いま



渡邊 泰彦 (権現堂)

議員として、1期目(4年間)は浪江町の避難指示解除を目指して、復旧に向けて走り続けてきました。2期目(4年間)は浪江町の復興に向けて走り続けます。安心安全な浪江町を取り戻すために頑張ります。

皆さまの真の復興、浪江町の復興に孤軍奮闘してまいります。